

まだまだあります！ 市制施行70年・開港70年記念事業

# ラペルーズ顕彰記念碑建立 メモリアル事業を実施します

「ラペルーズ顕彰記念碑」の建立から10年、稚内市制施行70年・開港70年、また、日本とフランスの外交関係が確立されてから160周年に当たる今年、本市における日本、フランス友好の証である同記念碑のメモリアルを祝う事業として、10月6日(土)に記念式典を開催するほか、ラペルーズ伯爵の功績についての講演会を予定しています。

詳しい日程などは広報わっかない9月号でお知らせします。

## 「ラペルーズ顕彰記念碑」

世界の三大航海士の一人であるフランスのジャン・フランソワ・ドゥ・ラペルーズ伯爵は、国王ルイ16世の命を受け、1785年8月に2隻の帆船を率いてフランスのブレスト港を出港。1787年には、日本海を探索後、8月に北海道とサハリンの間に海峡があることを発見し、同海峡を通過して、オホーツク海から太平洋へ至りました。

以来、この海峡はラペルーズ伯爵の名を冠して、国際的には「ラペルーズ海峡」と呼ばれています。(日本名：宗谷海峡)

2007年(平成19年)は、ラペルーズ伯爵がこの海峡を発見、通過してから220年目に当たる年であったことから、当時の「ラペルーズ顕彰記念碑建立実行委員会」により、宗谷岬公園に船の帆をデザインした「ラペルーズ顕彰記念碑」が建立され、日本、フランスの多くの関係者の出席のもと、除幕式が執り行われました。



「ラペルーズ顕彰記念碑」除幕式(2007年 宗谷岬公園)



# 風は吹く 舵取



稚内海峡太鼓保存会の迫力ある演奏



SE-NOが70年記念楽曲を披露



# 宗谷DANCE PROJECT

## サークル紹介

テレビで見るとかっこいいダンスが踊れるようになりたい！  
そんな子どもたちの声に応え、稚内でもダンスが学べる環境を作りたいと、地元稚内でDJとして活躍する小笠原さんを中心に、仲間たちが一緒に立ち上げた「宗谷ダンスプロジェクト」。

平成23年10月に設立した当時は、小学1年生から5年生までの15人で活動がスタートしました。

月に一度、札幌からダンスを招きレッスンを受けるというスタイルでしたが、代表の小笠原さんと仲間たちも本格的にダンスを学び、インストラクターとして子どもたちを指導するように。

「初心者」「初級」「中級」クラスのほか、豊富町や猿払村でも子どもたちの活動の場を作っています。

現在では、当時のメンバーも高校生になり、総勢80名で活動。主催する発表会のほか、地域のイベントやお祭りの踊りへの参加など、「地域密着型の活動」を大切にして日々練習に励んでいます。

「稚内市制施行70年・開港70年記念式典」で発表するプログラムを練習中の「稚内初級クラス」に7月12日にお邪魔して、小学4年生から中学1年生までの数名にお話を伺いました。

「友達と体験レッスンを来てみたら楽しかったので入りました。仲間と一緒にダンスを踊るのがとても楽しい」「実際に宗谷ダンスプロジェクトの発表を見て、自分もやってみたくなって入りました」「ダンスは難しいけど覚えたら楽しい！」と、みんなとにかく「楽しい！」とダンスを始め、たきかけや感想を話してくれました。

代表の小笠原さんに宗谷ダンスプロジェクトが目指すものは？とお聞きすると、「今後ずっとこの活動が続いていくこと。ダンス



初級クラスの練習風景



記念式典でダンスを披露

がでる環境をしっかりと整えること。そして、この地域から活躍するダンスサークルが育ってくれたらと思っています」と話してくれました。

記念式典当日は若者らしく元気で、かっこいいダンスを披露してくれた宗谷ダンスプロジェクトの皆さん。今後も、様々なイベントでの発表が予定されています。そして宗谷ダンスプロジェクトではいつでも一緒に活動する仲間を募集中！踊れなくても大丈夫。興味のある方は、代表の小笠原さんまで連絡を。(携帯090・5228・1859、mail:wakanai.dance@gmail.com)練習をちよつとのぞいてみて雰囲気を知りたい！という方は、毎週火曜17時30分から宝来地区活動拠点センターで行う初心者クラスを見学できます。